

いっしょに

考えて

みませんか？

～これからの武蔵野市の学校～



▲学校教育計画
中間まとめ本文



今、武蔵野市では「令和7年度からの5年間でどんな取組を小・中学校で進めるか」の計画を話し合っています。

また、学校の校舎が古くなってきたので、「未来の学校はどんな校舎がいいか」を話し合いながら、建て替えています。

これらの話し合いをよりよいものにするために、武蔵野市教育委員会では、小・中学生のみなさんの考えを聞きたいと考えました。話し合っていることのポイントを紹介するので、最後のページの二次元コードから、あなたの考えを教えてください。

武蔵野市の学校教育がこれから大切にしていきたいこと(教育理念)

みなさんは、どんなときに「うれしいな」「幸せだ」と感じますか？



「うれしいと感じるとき」や「幸せの考え方」は、人それぞれ違いますよね。

一方で、世界には貧しさ・飢え・差別など、つらい思いをしている人が、数多くいます。

こうした中で、「物の豊かさ」だけでなく、心や体の健康、日々の幸せや生きがいなど「心の豊かさ」を大切にする「ウェルビーイング」という考え方が広がっています。

わたしたちは、学校教育を通して「自分の幸せはもちろん、友だちなど他の人の幸せを大切にしてほしい」「幸せの輪を家庭や地域に広げ、豊かな社会をつくりたい」と願っています。そこで、「これからの教育の考え方」として、

自他の幸せと豊かな社会を実現する
未来の創り手を育む

ことを大切にしたいと考えています。



☑ 方針① 小・中学生の成長や学びを支える土台づくりを大切にします

例えば、こんなことに取り組みます



家の人や地域の人と、学校の目標や学校でチャレンジしたいことを話し合います。(小・中学生のみなさんにも参加してもらいたいと考えています)



学習者用コンピュータでできることをさらに研究します(一人ずつに合わせた問題作り、オンライン悩み相談など)



小学校から中学校に安心して進学できるように、先生同士の話し合いや子ども同士の交流を進めます。

☑ 方針③ 小・中学生の「○○をやりたい!」という主体性を大切にします

例えば、こんなことに取り組みます



学級や学校をよくするための、子ども中心の話し合いをもっと行います。(例えば運動会などの学校行事に、児童会や生徒会にもっと関わってもらおうなど)



まちや社会をよりよくするために、自分たちにできることを考え、行動する学習を進めます。(武蔵野市民科など)



先生たちにも、学校をよりよくする取組や工夫を考え、挑戦してもらえるようにします。

「自他の幸せと豊かな社会を実現する 未来の創り手を育む」

そのために、**3つ**の方針を進めます

☑ 方針② 小・中学生が自分の人生を切り拓いていけるよう、自信と意欲を育みます

例えば、こんなことに取り組みます



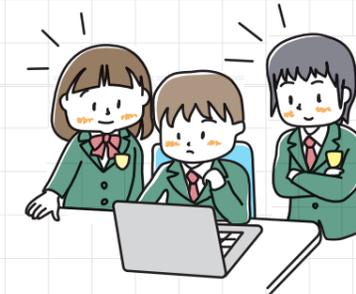
「いじめを絶対に許さない」など、子どもの権利を守って安心して学べるようにします。



学校に行きづらいときの居場所づくりや、勉強に集中できる教室の環境づくりを工夫します。



自分の大切さと他の人の大切さを認める学習を大切にします。



勉強したことを生活につなげる学習や「なぜ?」「どうして?」と問題を発見する学習を大切にします。



プロの演奏を聞く、スポーツ選手や外国人と交流するなど、色々な体験や交流ができるようにします。

学校の建て替え について

武蔵野市の市立小・中学校の校舎は建てられてからかなりの年月が過ぎました。そのため、学校ごとに順番に建て替えを進めています。その中で、「未来の学校で、こんなことができるといいな」と次のようなことを話し合っています。



先生が前に立って教えるだけでなく、グループで調べる、少人数で発表会をするなど、色々な取組ができるよう、教室と廊下をつなげて、学習に使える空間を広く取ります。

学校の図書館と学習者用コンピュータを使った学習や自習に使えるスペースを組み合わせた「ラーニング・commons」を子どもの居場所としてつくります。



学校の建て替えでは、未来の学校の姿を考えながら、各校の生徒や先生の人数、各学年のクラス数など学校の規模、また、部活動の運営なども含めて検討を進めています。



みなさんは「学校でもっとこんなことができるといいな」と思うことはありますか。

これからの学校のことについて、みなさんの考えを教えてください

ここまでしょうかいに紹介したこと以外にも、これからの学校について、考えていることがあります。右の二次元コードを読み取って見てください。また、話し合いや計画をもっとよいものにするために、「これは特に進めてほしい!」「もっとこんなことができるのでは?」というあなたの考えを、ぜひ教えてください。(令和6年9月30日まで回答できます)

